

広報たかお 9月号

発行日 2024（令和6）年9月1日
発行 高尾住民自治協議会

世帯数 134世帯 人口 248人
（7月末現在）

できごと

高尾地区 つつろオドル 夏まつり

松田龍治さんの弾き語り
心にしみる歌声に幾度ものアンコールの声が

津瀧教育文化部会長から
の感謝とお礼のあいさつ

鈴森義和さんのキレッキシの漫談!
めっちゃおもしろかったー!!

お馴染み八十八米住さんの落語

今年の特等をもっていったのは?

趣きのある竹あかり作品の展示

8月24日、天気心配もありましたが「高尾地区夏まつり」を楽しく開催することができました。地域に合ったこぢんまりとした夏まつりですが、地元スターのステージに心が躍った一夜となりました。ご来場、運営ほかご協力いただいたみなさま どうもありがとうございました



カメムシ被害を減らせ!!

… ドローンによる害虫防除 …



風の向きや強さを考えながら
均等に薬剤を撒く絶妙な操作!



2人の息もピッタリ!

実りの秋を前にカメムシなど稲の害虫を防除するためドローンによる薬剤散布が高尾でも行われました。

カメムシの大量発生は稲作に深刻な打撃を与えます。今年が多いとの予報もあり防除にも力が入ります。

オペレーターはドローン防除のベテラン、出合の中井さん。補助者の甲野さんと2人でこの日は4反ほどの圃場を15分程度で散布を完了しました。

“多年にわたり社会につくしてきた老人を敬愛し、長寿を祝う。”

「国民の祝日に関する法律」には敬老の日についてこのような趣旨が記されています。老人ということばのイメージはこの規定ができた昭和41年当時とはずいぶん変わってきていると思います。

高尾は高齢化率が伊賀市内の自治協で2番目に高く、ある意味伊賀市内の最先端の地域となっています。これだけ聞くと悲観的に感じてしまいそうですが、気がつけば私たちの周りには多くの財産もあります。

高尾の豊かで美しい自然や魅力ある文化、人と人とのつながりを大切にする風土などはまさに先輩方が多年にわたり地域につくし築き上げられたものが財産として今に受け継がれており、今もそれらを楽しむことに私たちは幸せと感謝を感じずにはられません。

最先端に行く地域として、これから先も地域の良き先輩、そして一員として高尾のことに思いを馳せながら一緒に元気に過ごしていただけるようお願いしております。

今年も主事さん組長さんを通じて心ばかりの記念品をお届けいたしますのでどうぞお納めください。



敬老の日
にむけて

再確認!

地震・台風・大雨にそなえよう!

8月は南海トラフ地震臨時情報(巨大地震注意)の発表、台風10号上陸などにより改めて防災の備えについて身近な問題として考えさせられました。



先日NHKの番組で“巨大地震注意”が出たら確認すべきことの優先順位として「①避難場所・避難経路の確認、②連絡方法・待ち合わせ場所の確認、③家具の転倒防止、④水や常備薬などの備蓄」であるのに対して、実際にとった行動は「水や食料などの備蓄」が最も多く次いで「家具の転倒防止」で「避難場所・経路や家族等との連絡方法の確認」は低い数字だったとの結果が報じられていました。確かに備蓄も大切であり、スーパーの水売場が軒並み売切れだった光景が印象的です。

でも災害が発生した場合、避難場所や経路、連絡方法などはまず最初におさえておくべき大切なことです。

今回自治協として「安否確認・避難支援シート」の更新を行いました。シートに記入いただきながらも一度近所の方や家族等と避難や連絡方法について確認しあうことでいざという時の大きな備えになるのではないのでしょうか。



9月 行事予定

- 11日(水) 配食サービス
- 14~16日(土~月祝) 敬老を祝う記念品の配布
- 17日(火) ちょこっと喫茶『敬老のつどい』
- 24日(火) 介護予防健康体操
- 26日(木) グラウンドゴルフ開始
- 28日(土) 自治協定例会